

令和6年度 高等部経営案

1 経営の視点(高等部目標)

生徒一人一人の望ましい発達と調和的な人格の育成を図り、個に応じた自立と社会参加を目指した指導の実践に取り組む。

2 重点施策(具体的方策)

- 生徒の実態に応じ、将来の社会生活に対応できる能力の育成に努める。(A-①、A-②、C-①)
- 生徒、保護者のニーズを的確にとらえ、関係諸機関との連携を密にし、共通理解を図りながら一人一人に即した進路指導に努める。(A-①)
- 小学部、中学部、大学、専門機関、他の特別支援学校や居住地域との連携を図り、充実した授業づくりの研究・実践に取り組む。(A-①、B-①、C-①、D-①)

3 各指導の形態とねらい、内容及び指導形態

(1) 各教科等を合わせた指導

① 日常生活の指導

- ・ねらい 生徒の日常生活の充実を目指しながら、基本的な生活習慣など集団生活や社会生活を送る上で必要な事柄を身に付ける。
- ・内 容 身辺処理、集団生活などに関する内容
- ・指導形態 学級、全学年

② 生活単元学習

- ・ねらい 体験的な学習や活動を通して、社会参加に必要な力を身に付ける。
- ・内 容 行事に関する単元、理科的・社会的内容を取り入れた単元
その他の体験的な学習
- ・指導形態 学級、全学年

③ キャリア

- ・ねらい 生徒の能力に応じた作業内容を通して、基本的な作業態度や技能、働く意欲及び自己判断・自己決定できる力を身に付ける。
将来の生活や職業に必要な知識を身に付ける。
- ・班の編成及び内容
 - ハンドメイド:フェルトボールなどの手工芸的作業やクッキーなどの製菓作業等への取り組みを通し、手指の巧緻性や一定時間作業に取り組む集中力などを身に付ける。
 - ファーム:野菜や草花の栽培、収穫、販売等への取り組みを通し、仕事をする上で必要な体力、天候に応じた臨機応変な対応力、友達と協働する力などを身に付ける。
 - サービス:窓拭き作業など校内・校外の環境整備活動やオフィスワークを中心とした受注作業等への取り組みを通し、作業内容に応じた臨機応変な対応力、友達や教職員とコミュニケーションを図りながら協働する力などを身に付ける。
- ・指導形態 3グループ編成

④ 現場実習(年3回、各2週間)

(就業体験)

- ・ねらい 現実的な条件の下で、生徒の職業適性を把握し、将来の職業的・社会的な生活によりよく適応できる能力や態度を育成する。

(校内実習)

- ・ねらい 校内に設定された職場環境の中で实际的・体験的な学習を行い、生徒の社会的自立に向けた能力・態度の育成を図る。

(2) 総合的な探究の時間

- ・ねらい 行事の計画や運営及び余暇活動に関わる活動を通し、生徒の自己選択や問題解決能力を養う。
将来の自立に向けた内容の指導を通して、生徒自らの力で解決する力を身に付ける。
- ・内 容 余暇活動、交流学习に関する内容
- ・指導形態 学級、活動に応じたグループ編成
行事に関しては、行事担当者の計画立案をもとにグループ編成をする。

(3) 教科別の指導

① 国語

- ・ねらい 生徒の実態に応じ、よりよい生活を送るために必要な知識・技能や態度を養う。
将来の社会生活に必要な国語の力を身に付ける。
- ・内 容 個に応じて、社会生活に必要とされる国語の内容
- ・指導形態 5グループ編成

② 数学

- ・ねらい 生徒の実態に応じ、よりよい生活を送るために必要な知識・技能や態度を養う。
将来の社会生活に必要な数学の力を身に付ける。
- ・内 容 個に応じて、社会生活に必要とされる国語の内容
- ・指導形態 5グループ編成

③ 音楽

- ・ねらい 音楽各領域の活動を通して、音楽に対しての興味や関心を高め、生活を明るく楽しいものにするための豊かな情操を育てる。
- ・内 容 歌唱、器楽、身体表現、鑑賞などの活動
- ・指導形態 全学年

④ 美術

- ・ねらい 美術各領域の活動を通して、表現方法を知り、楽しさを味わい、生活を明るく楽しいものにするための豊かな情操を育てる。
- ・内 容 絵画、彫塑、デザイン、版画、共同制作など。
- ・指導形態 全学年

⑤ 保健体育

- ・ねらい 健康と安全に関する日常生活に必要な基礎的な事柄を身に付ける。
調整力及び持久力の育成や社会生活に役立つ運動の習慣化を図る。
- ・内 容 体操、各種スポーツ、ダンス、持久走
身体計測、健康・安全に関する事項（養護教諭とのチームティーチング）。
- ・指導形態 全学年
朝の運動の時間はランニングを中心にストレッチなどの自立活動の内容を加味し生涯スポーツにつながるように指導に当たる。

⑥ 職業・家庭

- ・ねらい 一人一人に応じた将来の生活について考える機会を通し、家庭生活や社会生活に関する学習を通して、必要な事柄を身に付け主体的に判断し行動できる力を養う。
- ・内 容 家庭生活に関する内容
社会生活やコミュニケーションに関する内容など
- ・指導形態 学級、活動に応じたグループ編成

(4) 特別の教科 道徳

- ・ねらい 教師と生徒及び生徒相互の人間関係を深めるとともに、学校生活における諸活動を通し道徳的価値（個性の伸長、思いやり、勤労、公共の精神、自然愛護等）を培う。
- ・内 容 自分自身に関すること、他の人との関わりに関すること、自然や崇高なものとの関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること
- ・指導形態 全学年、学級、活動に応じたグループ編成

(5) 領域別の指導

① 自立活動

- ・ねらい 生徒の実態に応じた指導を通して、生活上の困難を主体的に改善・克服する力を養う。
- ・内 容 健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションに関する内容
- ・指導形態 教育活動全般を通して指導する

② 特別活動

ア ホームルーム活動

- ・ねらい 学級や部集団の中で、よりよい人間関係作りや基本的な生活習慣、及び進路や将来の生活についての意識付けを図る。
- ・内 容 学級内の組織作り、各種仕事の分担、生活習慣、将来の生活に関する内容

・指導形態 学級

イ 委員会活動

・ねらい よりよい学校生活を送るために必要な仕事を分担し、活動することを通して集団の一員としての自覚を深めるとともに、主体的・実践的な態度を育てる。

・内 容 生徒の実態に応じ、学校生活の充実や向上、改善に関する内容

・委員会編成

○生徒会 :部行事及び各集会等の計画立案・運営に関すること。

○衛生委員会:校舎内外の美化活動、健康に関すること、保健指導

○給食委員会:配膳台やテーブルの清掃活動、その他、給食に関すること

・活動期間 活動計画を立て、常時活動を主とする。

・指導形態 全学年編成

(6) 学校設定教科

① 選択教科

・ねらい 生徒の興味・関心などに応じ、各教科の中で学んだ内容を「広げ・深め」ながら主体的に学ぶ態度を育成し、生徒の内面や生活の充実を図る。

・内容 音楽、美術、体育の学習を発展、充実させた内容

・指導形態 全学年選択希望制による3グループ(音楽、美術、体育)編成

② 情操

・ねらい 様々な文化・芸術的、体育的な経験を通して、豊かな感情や情緒を育む。

・内容 音楽鑑賞、絵画、写真、読書、ヨガ・ストレッチ、ダンスなど

・指導形態 実態や内容に応じた編成

(7) その他

部活動

・ねらい 集団での活動を通して、仲間意識や協調性、先輩・後輩に対する意識など、豊かな人間関係を気付く力を育む。また、達成感を感じる経験を積み重ね、生涯スポーツや文化的活動につなげる。

・内容 サッカー、フライングディスクなどのスポーツ活動
造形活動、音楽的活動などの文化的活動

・指導形態 希望者

(8) 社会との連携について

高等部の生徒の多くは、卒業後には一般企業や社会福祉施設への就労となる。そのため、高等部の教育課程では、キャリアや年3回の産業現場等における実習(以下、現場実習)を設定し、卒業後の社会で個に応じた自立と社会参加ができるようにしている。

現場実習を実施するにあたっては、現場実習先の協力はもちろんのこと、実習先との事前の打ち合わせや当日の送迎、反省会の参加など保護者の協力が必要不可欠となる。そのため、まず高等部では、学校生活やキャリア等の様子から生徒の実態を的確に捉えるとともに、保護者との話し合いを重ねて現場実習先を決定している。現場実習の反省会でいただいた意見や評価は、次の現場実習に生かせるよう学校生活で意識して支援・指導を行っている。また、卒業間近には、生徒の個に応じた自立と社会参加した生活を行っていくために保護者、学校、移行先の担当者、居住地域の福祉課などと連携を図ることを大切にしている。

4 週時程表

別紙

5 週指導時数

指導の 形態	教科等を 合わせた指導			総合的な学習の時間	教科別の指導						特別の教科 道徳	領域別	学校設定教科		合 計
	形態名	日常生活の指導	生活単元学習		キャリア（作業学習）	国語	数学	音楽	美術	保健体育		職業・家庭	特別活動	選択教科	
全学年	10.0	0.5	7.0	1.0	1.5	1.5	1.0	2.0	4.0	0.5	1.0	2.0	1.0	0.8	33.8